

HISTORY 3年歴史学習（2年未履修分⑦）

3年()組()番 名前()

教科書P184～185 1 近代日本を支えた糸と鉄

めあて 明治時代になって、日本の軽工業や重工業はどのように発展していったのでしょうか。

〈問1〉教科書を読み、①～⑦の語句を確認しよう

★明治時代、日本は工業化がすすみ、工業製品の生産量が飛躍的に増加しました

①	産業革命	産業のしくみが大きく変わり、工業中心の社会へと変化すること
②	軽工業	繊維工業のような、比較的軽い製品を作る工業 明治の日本では、綿糸紡績業や製糸業が発達
③	重工業	鉄鋼業のような、比較的重い製品を作る工業
④	八幡製鉄所	日清戦争で得た賠償金を使って、現在の北九州市につくられた官営の製鉄所
⑤	筑豊炭田	日本の鉄鋼業を支えた、福岡県に位置する石炭の産地
⑥	財閥	三井・三菱・住友など日本の産業経済界を支配するようになった実業家
⑦	渋沢栄一	明治から昭和初期にかけて活躍した実業家

〈問2〉P185資料③から、官営の製鉄所が北九州につくられた理由を説明しよう

近くに筑豊炭田があり、中国から鉄鉱石を輸入しやすい場所だったから

〈問3〉重工業が発達したことによって、日本国内でどのような変化が起こったでしょうか

機関車や戦艦などを国内で生産できるようになり、交通・通信網が発達し、多くの鉄道が開通した

まとめ

軽工業は輸入機械を用いて工場で大量生産が行われ発展し、重工業は戦争で得た賠償金を使って、政府が軍需産業に力を入れたことにより発展した。